

卒業論文

韓国におけるヤングケアラーに関する研究  
—家族ケアを担う子ども—

2012年度入学

九州大学 文学部 人文学科 人間科学コース

社会学・地域福祉社会学専門分野

2016年1月 提出

## 要約

本研究の目的は、韓国におけるヤングケアラーの現状を明らかにし、彼らが求めるニーズを把握することである。

まず、ヤングケアラーそのものについて説明している。それに加え、筆者がこのテーマ卒業論文のテーマにしたきっかけについて述べている。さらに、イギリスにおけるヤングケアラーの実態と日本・韓国におけるヤングケアラーに関連する状況についても述べた上に、課題設定を行っている。

次に、子ども・家族に関する先行研究についてまとめている。まず、近代社会以降の子ども観の変化と、近代家族の形成過程と特徴を確認する。その影響のため、ヤングケアラーが、家族ケアを担うことが期待され家庭内で孤立していることを、イギリスの先行研究から把握している。

また、イギリス、日本、韓国におけるヤングケアラーに関する実態を紹介している。イギリスと日本で行われたいくつかの調査の結果をまとめている。各々のヤングケアラーに関する支援について紹介している。韓国の場合、少年少女家庭について検討している。

さらに、韓国の青少年相談員対象の質問紙調査についてまとめている。社会福祉サービス分野の担当者を対象に量的調査を行うことで、「ヤングケアラーという用語の認知度」、「ヤングケアラーの状況」、「ヤングケアラーが苦しんでいたこと」、「ヤングケアラーのために本人がしてあげた支援」、「必要と思われる支援」を判明している。その上に、イギリスと日本で行われた量的調査の結果と比較して考察している。

韓国のヤングケアラーを対象に行った質的調査についてもまとめている。イギリスの先行研究を参考にし、イギリスと類似している点を把握する上に、韓国におけるヤングケアラーの特徴も、「家族主義」と結びついて分析している。最後に、ヤングケアラーが求めるニーズについてもまとめ、明らかにしている。

## 目次

1	問題設定	1
1.1	ヤングケアラーとは	1
1.2	私はヤングケアラー	2
1.3	本研究の課題	4
2	子どもと金近代家族に関する先行研究	6
2.1	子ども観の変化	6
2.2	近代家族の誕生	7
2.3	閉じ込められたヤングケアラー	9
3	YCに関する実態	12
3.1	イギリスの場合	12
3.1.1	調査のまとめ	12
3.1.2	法律	18
3.1.3	支援	20
3.2	日本の場合	22
3.2.1	調査のまとめ	22
3.2.2	支援の萌芽	30
3.3	韓国の場合	31
4	韓国の青少年相談員対象の質問紙調査	34
4.1	調査概要	34
4.2	調査内容	34
4.3	結果と考察	35
4.3.1	本人が担当したYCに関する内訳	36
4.3.2	提供した支援	40
4.3.3	必要と思われる支援	42
4.4	小括	44
5	韓国のヤングケアラー対象の質的調査	45
5.1	調査概要	45
5.2	事例調査のまとめ	46
5.3	分析と考察	59

5.3.1	YCのケア役割について.....	60
5.3.2	ケアを担うことで受けた影響について.....	72
5.3.3	YCらのニーズ.....	88
6	結論.....	93
	謝辞.....	96
	注・文献.....	97
	添付資料	